

資料館の展示品紹介② 手桶



(写真 手桶)

水などを入れて運ぶために、取っ手のついた桶で、手提げ桶ともいいます。材質はサワラの柂目板を用いるのが一般的といい、これを短冊形に割って円形の底板のまわりに並べてタガで締めます。展示の手桶は、底の直径 25.9cm、手までの高さ 42.5cm、口の直径 28.3cm、底から口縁までの深さ 20.5cm の中型のものです。ふだんは資料館 1 階の「農家」のジオラマの「井戸」の近く、タライのそばにあります。